

第137回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和3年12月17日（金）15:30～16:30

場 所：県庁6階第1・2特別会議室

次 第

1 開 会

2 報告事項

- （1）米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- （2）新たな変異株に対する対策について

3 その他

4 閉 会

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標等の状況【令和3年12月17日時点】

資料

		12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3A	レベル3B	レベル4
																	ゼロ期	流行注意期	感染流行期	感染まん延期		非常事態
判断指標	① 新規陽性者数 ※人口10万人当たり/人 (直近1週間合計) (1日平均/人)	1.01	1.14	1.41	1.62	1.62	1.68	1.55	1.48	1.62	1.62	1.41	1.48	1.62	2.02	1.82	0人	15人未満 (32人未満)	15人以上 (32人以上)	25人以上 (53人以上)	100人以上 (213人以上)	200人以上 (425人以上)
	② 病床使用率【国基準】 (入院中/確保病床数)	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.4	1.6	1.2	0.9	0.9	1.2	1.6	1.6	1.4	1.4	0%	20%以下	20%超	50%超		—
	③ 重症者用病床使用率【国基準】 (重症者/重症者用確保病床数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0%	20%以下	20%超	50%超		—
参考指標	① 重症者用病床使用率【国基準】 (重症者/確保重症者用病床数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	② 療養者数 (入院中・宿泊療養中・自宅療養中・入院等調整中)	18	19	23	26	27	25	24	26	27	29	29	31	30	34	33						
	③ 感染経路不明な症例の割合 (直近1週間平均)	66.7	52.9	42.9	33.3	29.2	24.0	26.1	9.1	8.3	12.5	14.3	18.2	25.0	30.0	37.0						
	④ 新規PCR検査の陽性率 (直近1週間平均)	0.2	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.5							
	⑤ 入院率(入院中/療養者数)	55.6	52.6	47.8	38.5	37.0	36.0	41.7	30.8	22.2	20.7	27.6	32.3	33.3	26.5	27.3						
	⑥ 前週比 (直近1週間の新規陽性者数 前週/今週)	1.5	1.5	1.8	2.2	2.0	1.9	1.8	1.5	1.4	1.1	0.9	0.9	1.0	1.3	1.2						
	⑦ 予測ツール (3週間後予測病床/即応病床(緊急フェーズ))	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/						
関係数値	項目名	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17						
	① 【確保済】医療機関病床数	142	142	143	136	133	114	116	109	106	105	109	110	111	111	111						
	② うち【確保済】(国基準)重症者用病床数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15						
	③ うち【確保済】(国基準)重症者用病床数	42	37	37	37	42	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37						
	④ 即応病床(計画)数	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641	641						
	⑤ うち重症者用即応病床(計画)数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60						
	⑥ 確保病床数	100	100	100	100	100	100	114	114	114	114	114	114	114	114	114						
	⑦ うち重症者用確保病床数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16						
	⑧ 宿泊施設病床数	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852	852						
	⑨ 新規陽性者数	5	4	5	4	3	2	0	4	6	5	1	4	4	6	1						
⑩ 感染経路不明者数	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	2	1							
療養者数	⑪ 入院中	10	10	11	10	10	9	10	8	6	6	8	10	10	9	9						
	うち(国基準)重症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	うち(国基準)中等症者数	2	3	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	5	4	4						
	うち(国基準)重症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	うち(国基準)中等症者数	2	3	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	5	4	4						
	⑫ 入院勧告解除確認中	0	1	0	1	0	1	0	1	2	5	3	1	2	3	5						
	⑬ 入院等調整中	2	2	0	4	0	1	0	1	2	1	0	1	0	3	1						
	⑭ 宿泊施設療養中	5	5	9	8	11	10	9	13	12	12	14	14	13	14	14						
	⑮ 自宅療養中	1	1	3	3	6	4	5	3	5	5	4	5	5	5	4						
	⑯ 療養者数 合計(⑪+⑫+⑬+⑭+⑮)	18	19	23	26	27	25	24	26	27	29	29	31	30	34	33						

1 米軍基地内陽性者数

場所	合計	12/17	12/16	12/15	12/14	12/13	12/12	12/11	12/10	12/9	12/8	12/7	12/6	12/5	12/4
嘉手納基地	703		1		1								1		
キャンプマクトリアス	7														
普天間基地	293														
キャンプハンセン	718	13	6	8				3		1					
キャンプキンザー	173														
キャンプフォスター	419							1							
ホワイトビーチ	15														
キャンプコートニー	172														
キャンプシュワブ	164											1			
トリイ通信施設	72														
キャンプシールズ	11														
その他	35														
不明(確認中含む)	114	1													
合計	2896	14	7	8	1			4		1		1	1		
隔離解除(全軍)	2862	2896	2882	2875	2867	2866	2866	2866	2862	2862	2861	2861	2860	2859	2859

在沖米海兵隊のコロナ感染者急増について

在沖米海兵隊からの報告

【キャンプハンセンの状況】

- この数日、キャンプハンセンで多数の陽性者が判明
(12/17 報告分：70名、キャンプハンセンでの現在の陽性者数：99名)
- ハンセンの陽性者のほとんどが2つの部隊のいずれかに所属
- この陽性者はアメリカ本国の同じ場所から移動してきた者たち
(うち5～6件は別の所属)

【陽性判明状況】

- 行動制限 (ROM) 下において、「症状を呈した」または「濃厚接触者として検査」した際に陽性判明。
- うち1名のみ ROM 以外で判明。
- 陽性者は全員ワクチン接種をしており、ブレークスルー感染と考える。

【海兵隊の対応状況】

- 陽性者の追跡調査を行っている。
- 地域住民との接触は確認されていない。
- キャンプハンセンについては、ワクチン接種の有無に関わらず、マスクの着用が義務づけられることになった。
- これから内部で今後の対応を検討する。

●県から要望した事項●

沖縄県からは下記事項を強く要望した。

- 感染者増加への早期対応のためにも、ゲノム解析を実施していただきたい。もし、検査設備の関係で検査が難しいのであれば、日本政府とも相談して実施の検討を進めてほしい。
- 基地内の健康保護態勢 (HPCON) のレベルを強い措置にしていきたい。
(現在は、2番目に緩やかな措置の α (アルファ))
- また、少なくともキャンプハンセンの関係者は、基地外への外出禁止などの措置を取っていただきたい。

※外務省沖縄事務所、沖縄防衛局へも本件に関する早期の対応を要望した。

【その他の在沖米海兵隊側からのコメント】

- 以前にもお伝えしたが、在日米軍施設においてゲノム解析をすることは、解析設備がないことから対応することはできない。必要であれば、アメリカ本国での検査となる。
- 日本側に検体を提供してゲノム解析するのは、個人情報等の規則により難しいと考える。

2 今後の対応

(1) 検査

別紙のとおり

(2) 医療体制

ア 入院対象

厚生労働省事務連絡（令和3年11月30日付け、同年12月15日改正）に基づき、新型コロナウイルス感染症の検査陽性者（以下「検査陽性者」という）であって、L452R（デルタ株）変異株PCR検査が陰性である者等オミクロン株の感染が疑われる者については、重点医療機関等への入院対応とする。

入院期間中は個室隔離とし、他の株の患者と同室にしない、また、可能な限り、陰圧管理を行う。

なお、オミクロン株であることが確定した患者同士を同室とすることは可能。

※ゲノム解析により、オミクロン株でないことが確定した場合には、他の新型コロナウイルス感染症患者と同様に、症状等に応じて療養先を決定する。

イ 今後の対応

- ①県内医療機関へのオミクロン株患者の受け入れの要請（個室隔離可能な医療機関）
- ②今後に向けて、北部及び中部の医療フェーズの引き上げを予定（1→2）

ウ 濃厚接触者への対応（宿泊療養施設）

オミクロン株の濃厚接触者となった方については、原則那覇市内の宿泊療養施設（1棟、最大84室）にて待機を要請する。（最後の接触から14日間）

濃厚接触者が増加した場合に備え、さらにもう1棟の宿泊療養施設（中部、1棟、最大56室）を準備中。

※濃厚接触者同士の接触を避けるため、稼働数に制限が生じる。

エ 搬送体制

搬送については、コロナ対策本部及び保健所のオミクロン感染者及び濃厚接触者用の専用車両を準備し、搬送を実施。搬送は、同居の家族であれば同乗となるが、原則1回の搬送ごと1名を搬送。（その都度、消毒作業を実施する必要がある。）

本人が運転可能な場合は、本人で移動していただくことも調整する。